

# 柳井お宝マップ

## 余田地区編

制作 豊笑家倶楽部 2006.2

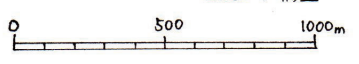
2020.5 修正

岩国市

伊陸

柳井  
(柳北)

新庄



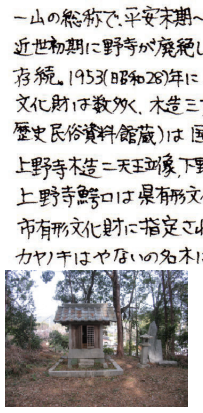
**永福寺の半鐘**  
1790(寛政2)年に柳井の鋳物師 片山芳兵衛(野斎)伊兵衛が作ったもの。



**火田池(黒杭溜池)**  
1937(昭和12)年完成。かんがい用水を確保のため建設される。貯水量は16万5000m<sup>3</sup>。



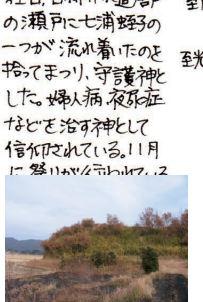
**福楽寺(真言宗)**  
前身、野寺は上野寺十二坊、下野寺六坊一山の総称で、平安末期〜鎌倉初期に開創。近世初期に野寺が廃絶し、福楽坊のみ存続。1953(昭和28)年に福楽寺と改称。文化財は数多く、木造三重小塔(山口市歴史民俗資料館蔵)は国重要美術品。上野寺木造二天王御像、下野寺木造二天王御像、上野寺尊皇は有形文化財。懸仏は市有形文化財に指定されている。クマガヤチ、カヤノキはやなぎの名木に数えられている。



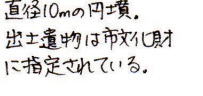
**権の宮**  
鎌倉権五郎景政の霊を祀っており、眼痛の神として参詣する者が多かった。祭日は旧暦7月3日、11月29日。庄屋だった長尾家では毎月8日薬師の命日に祭りをする。



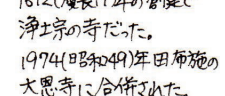
**流蜷子社**  
往古、百柳井水道戸の流蜷戸に七瀬流蜷子の一つが流れ着いたのを拾ってまつり、守護神とした。婦人病、夜尿症など治す神として信仰されている。11月に祭り(流蜷子まつり)。



**水金古墳(市史跡)**  
直径10mの円墳。出土遺物は市史跡に指定されている。



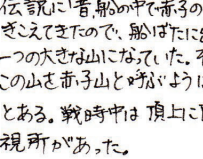
**極楽寺本堂跡**  
1612(慶長17)年の創建で、浄土宗の寺だった。1974(昭和49)年田布施の大恩寺に合併された。



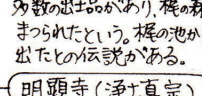
**富濃勢溜池**  
余田南部の水がめ、カモなどの渡り鳥の休息場所として有名。



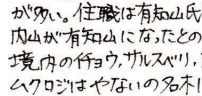
**赤子山(標高230.5m)**  
伝説に「昔、船の中で赤子の泣き声がきこえてきたので、船中に出てみたら一つの大きな山になっていた。そこからこの山を赤子山と呼ぶようになった」とある。戦時中は頂上に陸軍監視所があった。



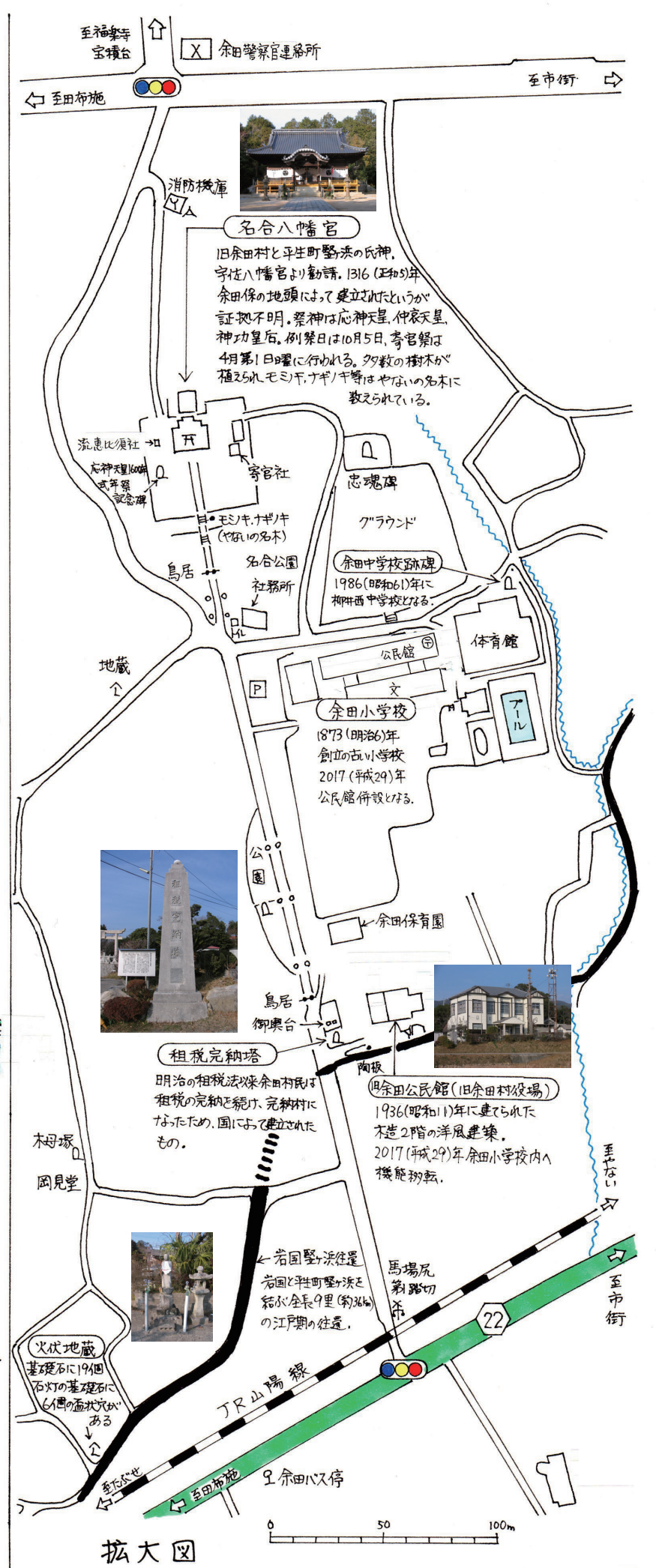
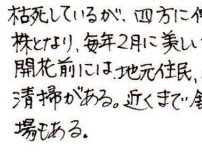
**権の池、権の森**  
1892(明治25)年に古墳が発掘されて多数の出土品があり、権の森大明神としてまつられたという。権の池からは船の権が出たという伝説がある。



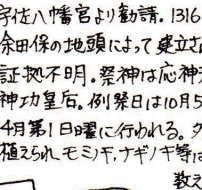
**明頭寺(浄土真宗)**  
16世紀半ばに創建。大分県豊後大野市の内山観音にまつる寺で、付近には内山姓が多い。住職は有知山氏で、いつのまにか内山姓が有知山になったととである。境内のイロウ、サルズベリ、シタレサクラ、ムクロジはやなぎの名木に数えられている。



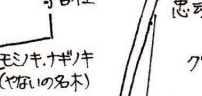
**余田臥龍梅(国天然記念物)**  
1933(昭和8)年指定。指定時の老樹は枯死しているが、四方に伸びた枝が独立した枝となり、毎年2月に美しい花を咲かせる。開花前には地元住民、小中学生による清掃がある。近くまで舗装され、駐車場がある。



**名合八幡宮**  
旧余田村と平生町野津の氏神。宇佐八幡宮より勧請。1316(正和5)年余田保の地頭によって建立されたというが証拠不明。祭神は応神天皇、仲家天皇、神功皇后。例祭日は10月5日。寄宮祭は4月第1日曜日に行われる。多数の樹木が植えられ、モミヅ、ナギノキ等はやなぎの名木に数えられている。



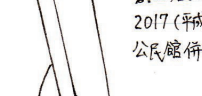
**余田小学校**  
1873(明治6)年創立の古い学校。2017(平成29)年公民館併設となる。



**租税完納塔**  
明治の租税法以来余田村民は租税の完納を続け、完納村になったため、国に建てられたもの。



**余田公民館(旧余田村役場)**  
1936(昭和11)年に建てられた木造2階の洋風建築。2017(平成29)年余田小学校内へ機能移転。



**火伏地蔵**  
基礎石に1940年石灯の基礎石に64箇の通称がある。

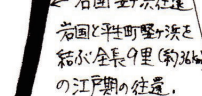


**大平山 313.9m**

**安立寺(浄土真宗)**  
16世紀に開基。寺屋敷はもとは蛇の池と呼ばれ恐れられていた。相譲して池を埋め立て、安立寺になったといわれている。山門の前に池の跡が残っている。本堂前には樹齢400年といわれるカツキがあり、5月に美しい花を咲かせる。



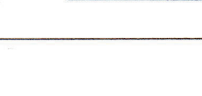
**正蓮寺(浄土真宗)**  
戦国時代末期の開創とされている。本堂の右前にはイナヅがあり、やなぎの名木に数えられている。



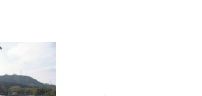
**JR山陽線**  
余田バス停



**火伏地蔵**  
基礎石に1940年石灯の基礎石に64箇の通称がある。



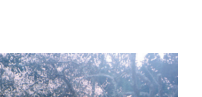
**流蜷子社**  
往古、百柳井水道戸の流蜷戸に七瀬流蜷子の一つが流れ着いたのを拾ってまつり、守護神とした。婦人病、夜尿症など治す神として信仰されている。11月に祭り(流蜷子まつり)。



**権の池、権の森**  
1892(明治25)年に古墳が発掘されて多数の出土品があり、権の森大明神としてまつられたという。権の池からは船の権が出たという伝説がある。



**明頭寺(浄土真宗)**  
16世紀半ばに創建。大分県豊後大野市の内山観音にまつる寺で、付近には内山姓が多い。住職は有知山氏で、いつのまにか内山姓が有知山になったととである。境内のイロウ、サルズベリ、シタレサクラ、ムクロジはやなぎの名木に数えられている。



**余田臥龍梅(国天然記念物)**  
1933(昭和8)年指定。指定時の老樹は枯死しているが、四方に伸びた枝が独立した枝となり、毎年2月に美しい花を咲かせる。開花前には地元住民、小中学生による清掃がある。近くまで舗装され、駐車場がある。



「この地図は、柳井市長の承認を得て平成12年2月・平成14年12月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用したものである。(承認番号平成18年2月8日柳都第79号)」